

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1296700014		
法人名	有限会社 かづみ		
事業所名	グループホーム あんしん睦沢		
所在地	千葉県長生郡睦沢町川島757-3		
自己評価作成日	平成28年2月21日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 日本ビジネスシステム		
所在地	千葉県市川市富浜3-8-8		
訪問調査日	平成28年3月15日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>利用者様の身体的能力等の低下に伴い、できる事は減りつつも、毎日少しでも笑いのある生活を過ごしてもらいたいと願っている。緑豊かな自然に恵まれているので、季節を感じ、外の風を感じて頂いている。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>「グループホームあんしん睦沢」は自然豊かな静かな環境の中にあり、施設内はバリアフリー環境が整った安全面に配慮した造りとなっている。施設敷地内を活用して、外気浴や庭いじりが可能となっており、気軽に外の空気を楽しめるよう支援している。「地域との連携」を理念に掲げており、地域行事への参加やボランティアの受け入れ等を通じて、地域住民との交流を図ると共に、子ども110番に参加しており、地域貢献にも努めている。今年度は、県の身体拘束排除研修基礎課程に1名・実践課程に1名の職員が参加しており、身体拘束排除に向けた適切な支援に取り組んでいる。</p>

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	個人が充実した生活を送り、生きがいを持って暮らせるようにしている。	「個人の尊重」「安全・安心」「地域との連携」等を主眼とした施設理念を掲げていると共に、身体拘束排除理念を掲げており、事業所内に掲示している。理念においては、会議等で折に触れており、職員への周知を図っている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	あまり、付き合いが無いので、地域の一員としては、去年は忘年会に参加させていただいた。	地域住民とは日頃から挨拶・声掛けを交わす関係を築いていると共に、地域行事への参加を通じて交流を図っている。また、子ども110番に参加しており、地域貢献にも取り組んでいる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域に貢献できるよう取り組んでいきたい。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	初めての運営推進会議のため、1回目は顔合わせ、2回目は施設の状態の報告に終わりました。	運営推進会議は年2回開催しており、地域包括支援センター職員・民生委員・地域住民等が出席している。会議では、施設の活動報告や意見・情報交換を行っており、施設の利用促進及び外部の意見確認に活用している。	開催回数の増加を検討し、施設運営の透明性の確保及び外部からの意見の確認機会増加を行い、よりサービスの質の向上につながるよう取り組んでいただく事を推奨します。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	町とは、利用者様の状態とか施設の空室とか、いろいろ相談に行きます。	日頃から町に対して相談や報告を行っており、随時連携を図っている。また、地域のグループホーム連絡会・地域連携フォーラムに参加しており、町や同業者との意見・情報交換の機会を設けている。	

【千葉県】グループホームあんしん睦沢

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	県の高齢者権利擁護・身体拘束廃止研修を受けて、職員全体で取り組んでいるところ です。	身体拘束排除に向けた施設理念を掲げていると共に、県の身体拘束排除研修に参加しており、職員に意義の周知を図っている。困難事例においては、職員間で検討を行い、適切な支援方法の実践に取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員会議の題目の1つの取り上げとして、全員で注意をして行くことを話し合い、防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部研修者による説明会により、職員全体のレベル向上に努め、活用できるようにする。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用申し込み時に契約書等の説明を行い、理解していただいた上で契約を行っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会に訪れた利用者家族に近居報告をしながら意見・要望を聞いて反映させている。	家族の訪問時・電話連絡時等を活用して意見・要望等の確認を行っている。挙がった意見・要望においては、会議・申し送り・連絡ノート等を活用して、周知・検討の上、適切な改善に努めている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の意見・提案は運営にどんどん反映させる。	定期的に職員会議を開催しており、職員の意見・提案を確認している。また、職員間の連絡ノートを活用し、情報の共有が行えるよう工夫している。	管理者の異動を最小限に抑えるもしくは効率的な引継ぎのシステムを構築する事により、異動による様々なダメージを軽減するよう工夫を望みます。

【千葉県】グループホームあんしん睦沢

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	現場での査定するシステムになっていないために反映されていない。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部の研修案内はできるだけ、参加し、職員のレベル向上に取り組んでいる。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域のグループホーム連絡会の研修に参加。また、系列法人の運営する施設訪問を行っている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の意思が確認できる方は腰部に沿えるよう努めている。確認できない方については、表情から安心を感じられるよう心掛けている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	アセスメントシートや家族との話し合いで不安・要望等を聞き、関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族との話し合いで、優先順位は何かを考え、状況の変化に応じ、提案するよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	コミュニケーションを取りながら、利用者様の立場に立った対応を実施している。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時に現在の状況を説明し、会話の流れの中で本人と家族の話がスムーズにいくようサポートしている。		

【千葉県】グループホームあんしん睦沢

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	外出・外泊の時はなるべく利用者様の馴染みの場所・家に帰ってリフレッシュをしています。	希望に応じて、友人・知人・親戚等の来訪を受け付けていると共に、家族との外出・外泊も自由となっており、馴染みの関係継続を支援している。また、希望に応じて、個別での外出も実施しており、馴染みの場での楽しみも支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士の会話が成立する事は少ないが、相性を見ながら席次に配慮している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご家族も市・町を越えて地元に住んでおられないことが多いので断ち切れる方が多くなっているのが現状です。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	契約時に本人・家族から意向・生活歴・身体状況を確認すると共に、必要に応じて医療機関等より詳細や情報の把握に努めている。	入居時に入居者・家族から意向・生活歴・身体状況等を確認していると共に、他事業所や医療機関からの引継ぎを受けており、より詳細な情報の把握に努めている。また、会議や申し送りノートを活用し、職員間で情報の共有を図っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	面談・入所時に生活歴や暮らし方を聞き取る。また、入所時には馴染みの品を持ってきていただき、生活しやすい環境にしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	バイタルサイン、排尿、排便状況の把握や歌唱、描画を進めて様子を見るなどして現状の把握に努めている。		

【千葉県】グループホームあんしん睦沢

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人・家族の意向や身体状況を踏まえて、会議にて検討の上、介護計画を作成している。	本人若しくは家族を含めた担当者会議を開催しており、意向を把握した上で介護計画の作成を行っている。定期的に目標の達成状況の確認及び評価を行っており、定期または必要時に介護計画の見直しを行っている。必要に応じて、計画作成担当者が医療機関と情報交換を行い、入居者のニーズの把握に努めている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録、申し送りノート、会議、ヒヤリハット、日々の行動や職員間の情報を共有している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者の状況に合わせ、職員からの提案などを取り入れながら柔軟な対応ができるよう心掛けている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域との交流を図り、一人ひとりが地域の一員として、生活できるように働きかけている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	希望の掛かりつけ医院への受診が可能となっていて、また、歯科医の往診も実施している。	希望の掛かりつけ医への受診と共に、必要に応じて内科医の往診も可能となっており、適切な医療受診を支援している。また、非常勤の看護師職員による健康管理等を実施している。定期的に歯科医の往診を実施しており、口腔ケアを行っている。	入居者の服薬時の確認の徹底を行い、飲み残しや誤薬等の事故防止に向けた取り組みをしていただく事を期待します。

【千葉県】グループホームあんしん睦沢

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回、看護師の訪問で情報交換や指示を仰いでいる。最低でも3か月に1回の受診をしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院の看護師、介護職とコミュニケーションを取って、退院後に備えている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に重度化や終末期における施設の方針、対応等、家族に説明し、同意を得ている。日頃から協力病院とは連携を図りながら施設としてできる限りの支援が行えるよう取り組んでいる。	契約時に重度化・終末期における施設方針の説明及び意向の確認を行っている。必要時には医師・看護師・家族と相談をしながら希望に沿った終末期を支援できるよう協力体制を整備している。	終末期における意向の確認を行っているが、今後は状況を見ながら定期的に再度確認を行い、常に新しい意向を把握できるよう工夫して頂くことを推奨します。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	応急手当のマニュアルはある。判断が難しい時には、看護師、或いは系列法人のお看護師に常時連絡が取れる体制になっている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、消防避難訓練を実施したが、夜間対応を行っていないので実行しようと思いません。	スプリンクラー・火災報知器・自動通報器等の消防設備を設置していると共に、年3回の避難訓練を実施している。訓練では、消防署立会い訓練・夜間想定訓練・消火器訓練等を実施しており、状況に応じた対応方法の確認を行っている。	

【千葉県】グループホームあんしん睦沢

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉かけや対応が十分に行き届かないこともあるが、全職員が共通の認識を持って対応できるよう、促す。	連絡ノートや申し送りにて、プライバシー保護・接遇に関する事項を挙げており、職員に都度指導を行っている。入浴・排泄時の拒否においては、タイミングや声掛けを工夫し、無理強いをしない支援の実施に努めている。	定期的に職員一人ひとりが声掛けや支援方法を振り返る機会を作り、入居者の尊厳に配慮した支援の徹底を行っていただく事を期待します。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	天気の良い日には、散歩や外出が出来るよう、支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日課は特に決めてなく、自由に過ごしていただいている。天気の良い日には、日当りの良い場所で日光浴を勧めたりしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	家族から持ち込まれた衣類や入所時に持参した化粧品等で、外出時には化粧をして出かけている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	現在、利用者様の症状が重く同じことを長くできなくなってしまったため、一緒に準備する等々が、叶わなくなってしまっている。	入居者の希望や能力に応じて、食事の準備から片付けまでを共同で行っている。献立と食材配送においては、業者に委託しており、栄養バランスに配慮した食事提供を行っている。定期的に外食行事や特別食の提供を実施しており、食に対する楽しみを提供している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	宅配の栄養士が作成した献立に、食事や水分量はケース記録に記入し、利用者様の状態の変化に応じて食事形態も変えている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯科医師の訪問診療を受けている。一人でケアできる利用者は時間が掛かっても声掛けと見守りで対応している。		

【千葉県】グループホームあんしん睦沢

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を活用し、一人ひとりの排泄パターンを把握し、適切な排泄支援を行っている。また、必要に応じて医師・看護師と相談している。	排泄記録を活用しながら個々の排泄パターンを把握しており、声掛けやトイレ誘導にて排泄の自立に向けた支援を行っている。ラジオ体操やタオル体操を取り入れ、腸動運動を促す工夫を行う他、必要に応じて医師や看護師に相談し、適切な排便コントロールを行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分チェック表・乳酸菌飲料の摂取。散歩や体操など、個々に応じて取り組んでいる。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	ホームとしての入浴日や入浴時間帯はある程度の決まりはあるが、入浴者・順番等は、その時の利用者様の状況に応じて対応している。	入居者の体調や希望に応じて柔軟に対応しながら適切な入浴機会の確保を行うと共に、清拭・シャワー浴・部分浴を実施しており、入居者の清潔保持に努めている。拒否があった場合には、順番や日時の変更を行い、無理強いのない入浴を支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	各居室にエアコンを完備しており、日中居室で休まれる方や夜間の室温調整を行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師の処方箋に従っている。また、スタッフ2人体制で誤薬の無いように本人と薬の確認を行い、飲み込むまでの確認を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物たたみ、新聞折、庭先の手入れ、買い物、散歩等、気分転換の支援をしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	季節ごとの行事には、外出できるよう支援に努めているが、個別の急な外出希望には対応できていない。	日頃から散歩・買物・ドライブ等、戸外に出る機会を設けていると共に、定期的に外出行事を企画・実施しており、戸外での楽しみを支援している。また、施設敷地内を活用して外気浴やお茶飲み等を楽しめるよう支援している。	

【千葉県】グループホームあんしん睦沢

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在、対象となる利用者はいないが、支援するように努める。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	重度の利用者は多いため、今のところはまだできていないが、働きかけるよう努めていく。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	新築なので、バリアフリーが整っていて、日当たりの良い所での場所が利用者の憩いの場となっていて、思い思いに生活ができるような空間を確保している。	施設内はバリアフリーの環境が整備されており、入居者の安全面に配慮した設計となっている。共有スペースにはテーブル・椅子を設置しており、自由にくつろげるよう配慮している。また、施設内の日当たりの良い場所を活用して、日光浴を楽しむ等の工夫を行っている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人部屋なので、リビング、廊下等で、疲れた際は部屋にて休んでおられる。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	希望に応じて馴染みのものを持ち込むことができる。エアコン完備。希望に応じて、和室・洋室が希望可能。	入居者・家族の希望に応じて馴染みの家具等を持ち込むことが可能となっており、居心地よく生活できるよう配慮している。また、テレビ・ポータブルトイレの設置や和室・洋室の選択が可能等、生活歴に応じた居室作りがなされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物が新築のためバリアフリー、広い廊下、段差のない床と安全な環境の中で生活をなされている。		